

JIS

鉄及び鋼—マンガン定量方法

JIS G 1213 : 2001

(2006 確認)

平成 13 年 4 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS G 1213 : 1981は改正され、この規格に置き換えられる。

JIS G 1213には、次に示す附属書がある。

附属書1(規定) ペルオキソ二硫酸アンモニウム酸化しゅう酸ナトリウム・過マンガン酸カリウム逆滴定法

附属書2(規定) 過マンガン酸吸光光度法

附属書3(参考) JISと対応する国際規格との対比表

この規格の附属書2は、1982年に制定されたISO 629, Steel and cast iron—Determination of manganese content—Spectrophotometric methodが対応する国際規格である。

主務大臣：経済産業大臣 制定：昭和 28. 3. 28 改正：平成 13. 4. 20

官報公示：平成 13. 4. 20

原案作成協力者：社団法人日本鉄鋼連盟

審議部会：日本工業標準調査会 鉄鋼部会（部会長 木原 諄二）

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室〔〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1：TEL. 03-3501-1511(代表)〕にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

鉄及び鋼—マンガン定量方法 G 1213 : 2001

Iron and steel—Methods for determination of manganese content

1. 適用範囲 この規格は、鉄及び鋼中のマンガン定量方法について規定する。
2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。
 - JIS G 1201 鉄及び鋼の分析方法通則
 - JIS K 8001 試薬試験方法通則
 - JIS K 8005 容量分析用標準物質
 - JIS Z 8402-6 測定方法及び測定結果の精確さ(真度及び精度)—第6部：精確さに関する値の実用的な使い方
3. 一般事項 定量方法に共通な一般事項は、JIS G 1201による。
4. 定量方法の区分 マンガンの定量方法は、次のいずれかによる。
 - a) ペルオキシ二硫酸アンモニウム酸化しゅう酸ナトリウム・過マンガン酸カリウム逆滴定法 この方法は、マンガン含有率0.1 % (m/m) 以上30 % (m/m) 以下の試料に適用し、その定量方法は附属書1(規定)による。
 - b) 過マンガン酸吸光光度法 この方法は、マンガン含有率0.01 % (m/m) 以上20 % (m/m) 以下の試料に適用し、その定量方法は附属書2(規定)による。